



- 令和6年度の開二中のスローガンは、「開二魂の復興～それから～」です。
- そして、合言葉は、「共感・感謝・敬意」です。

校長 牧野 英一

令和6年4月号では、令和6年度の始業式で生徒に話した内容を紹介させていただきます。

1 令和6年度のスローガン「開二魂の復興～それから～」

令和6年度の開進第二中学校のスローガンは、「開二魂の復興～それから～」です。

「開二魂の復興～それから～」をスタートするに当たり、改めて、「あいさつは先手必勝」を大切にしてください。新年度は、新たな人との出会いが必ずあります。新たな人との出会の時期は、「あいさつは先手必勝」を実践するためには、最適の時期です。皆さん一人一人のあいさつを通して新たな歴史の針が動き出します。まずは「無言の招待状」である身だしなみを整えて、「有言の招待状」である先手必勝であいさつのシャワーを新入生と保護者の皆さんに浴びせてください。そうすれば、新入生もとても暖かい気持ちで中学校のスターを切ることができると思います。

さて、令和6年度がいよいよ始まりました。4月には入学式、新入生歓迎会、5月の連休明けには北海道修学旅行、そして、6月に入ると直ぐに運動会があります。「開二魂の復興～それから～」の舞台はすでに用意されています。ですが皆さんに今一度考えてほしいことがあります。それは、私たちは学校という集団の中で、異なる特徴・特性をもつ人がともに共生しているということです。そのような多様な人々で、「開二魂の復興～それから～」を進めていくためには、自分を大切にするとともに、相手を大切にすることが必要です。

2 「共感・感謝・敬意」の思いや願いを込め、「声かけと拍手」で伝え合う。

そのためには、「共感・感謝・敬意」の思いや願いを込め、「声かけと拍手」で仲間や先生をはじめ、全ての人に伝え合うことで、一体感を生み出しましょう。

まずは、「共感」を伝えましょう。人生は多様な人との出会いと別れの連続です。新年度という人生の節目に、相手を選ばず先手必勝で声かけをして相手を受け入れ「共感」を伝えることで新たな出会いに繋がります。「おはよう」「元気」「なるほど」「いいねえ」「そうだよね」など、相手に共感を伝える言葉を意識することで、「思いや願い」が共有でき一体感が生まれます。

次に「感謝」を伝えましょう。皆さんは、毎日の学校生活で多様な役割と責任をもって生活していると思います。自分と違う立場の人に先手必勝で、「ありがとう」「助かった」「うれしい」「グッときた」「感動した」など、相手に敬意を伝える言葉を意識することで、「思いや願い」が共有でき一体感が生まれます。

そして、「敬意」を伝えましょう。自分とは異なる才能をもつ人の気持ちを想像して先手必勝で、「さすが」「すごい」「すばらしい」「最高」「すてき」など、相手に敬意を伝える言葉を意識することで、「思いや願い」が共有でき一体感が生まれます。

私の話の後には、全員で校歌を歌うと思います。令和6年度のスタートに声を合わせて、「開二魂の復興～それから～」の第一歩となる「一体感」を創り出しましょう。



- 令和6年度の開二中のスローガンは、「開二魂の復興～それから～」です。
- そして、合言葉は、「共感・感謝・敬意」です。

校長 牧野 英一

令和6年4月号では、令和6年度の全校朝会で生徒に話した内容を紹介させていただきます。

新入生が入学して、約1週間が過ぎました。本日は、改めて、中学生としてルールやマナー、身だしなみ、あいさつの意味について考えてみたいと思います。

1 「ルールやマナー」の意味

「ルール」とは、集団に所属する一人一人が安全・安心な生活を送るために自然発生的に生まれた「必要最小限の約束」なのではないか。

そして、「ルール」とは、「注意する側」と「注意される側」に分かれて一方的に指示を出すものではなく、「より良い学校生活を送るためには、自分はどうすればよいのか」という視点で、「双方向で互いに声をかけ合う」ことが大切なのではないか。

「マナー」については、学校生活・集団生活をより豊かに過ごすために必要な「思いやり」なのではないか。

一人ひとりがマナーは、なぜ必要なのか考え、相手のことを少し考える余裕をもてば、「学校生活はより豊か」になり開二中はより良い雰囲気になると思います。

2 身だしなみの意味

身だしなみは、「無言の招待状」と呼ばれ、相手に対する敬意を無言で表現するものです。そして、第1印象の約90%が、身だしなみ、つまり外見で決まると言われています。また、進路決定など、皆さんの人生の重要な場面で、大きな影響を与えます。その理由としては、

(1) 見かけと内面が全く違う人はいない。(2) 人間関係で印象から始まる判断は非常に大切だからです。そして、ある人の見た目の印象を決める時間は、3秒とも言われています。

身だしなみの3原則は、

(1) 清潔感 (2) 時間・場所・場面に応じている。(3) 品位があることです。品位とは、相手を尊重する気持ちが表れたものです。

身だしなみと似ている言葉として、おしゃれがあります。身だしなみは、相手に対する敬意を無言で表現し、相手に信頼を与えるような服装です。おしゃれは「自分が好きな服装」で、自分のために身につけ自分が満足している服装と言われています。自分の好きな髪形、ピアス、メイクなどでしょうか。

本校では標準服を基調として、服装や髪型、言葉遣いなどを体験的に学んでいます。改めて聞きますが、皆さんは、標準服を着る際に、清潔感、時間・場所・場面、品位などの3原則を考えて、練習していますか。現在の身だしなみで、進路を決定する大切な場面に臨めますか。本校では、細かいルールを具体的に定めてはいませんが、今まで話したような理由から、皆さんの身だしなみに課題があると感じた際には、仲間や先生から声をかけて、双方向で考え、身に付けてほしいと思います。

3 あいさつの意味

身だしなみが「無言の招待状」であれば、あいさつは「有言の招待状」と呼ばれ、「共感・感謝・敬意」など相手を大切にしたい気持ちを表現するものです。相手を選ばずに自分から声をかけることが多様性を受容するスタートです。自分と身近な人のことに精一杯になるのではなく、顔を上げて相手の存在に気付いて、双方向の関係で、互いの存在を認め合うことで、開二中により良い雰囲気を創り出していきましょう。

安全・安心で豊かな学校生活

令和6年4月1日
練馬区立開進第二中学校

生徒全員が、安心して充実した学校生活を送るために、以下のことに気を付けてください。
一人一人が自覚と責任をもって行動し、開進第二中をより素晴らしい学校にしていきたいと思います。

【生活目標】

『すべての生徒が安心して登校し、

互いを認め合いながらより良い人間関係を築ける学校』

(1) 生活の五つの柱

- ① 挨拶・返事をしよう。
 - ・ 本校の伝統である気持ちのよい「あいさつ」を自分たちで引き継いでいこう。
 - ・ 『いつでも、どこでも、誰にでも』相手を選ばずに、笑顔であいさつをしよう。
- ② 時間を守ろう。
 - ・ 時間を守ることは、人として信頼されるための第一歩だと考えて生活しよう。
 - ・ 登校（8：25着席、朝読書開始）、最終下校（18：30）時刻を守ろう。
 - ・ 休み時間は次の授業の準備時間として、始業チャイム前に着席しよう。
- ③ 身だしなみや礼儀を身に付けよう。
 - ・ 時間・場所・場面に応じた服装、言葉遣いを身に付けよう。
 - ・ 職員室への入退出時の礼儀や相手に応じた服装、言葉遣いを身に付けよう。
 - ・ 印刷室から校長室前は来客などが多い「フォーマルゾーン」です。服装や言葉遣い等に気を付けよう。
- ④ 環境整備に努めよう。
 - ・ 教室や廊下をはじめ、自分たちが生活している場所の環境を整えよう。
 - ・ 公共物を大切に扱い、自分が利用していない物でも公共心をもって整えよう。
- ⑤ ルールやマナーを大切にしよう。
 - ・ ルールやマナーの意味を理解し、安全・安心で豊かな学校生活を送ろう。
 - ・ 学校生活を安全・安心に送るために、不要な物は持ち込まないようにしよう。
 - ・ 1時間の授業を大切にして、仲間と協働して主体的に学習に取り組もう。

(2) 何事にも自ら進んで取り組む姿勢をもとう。

- ・ 学習・学校行事・当番活動・係活動をはじめ、自ら取り組むことが生徒を目指そう。
- ・ 仲間と協働して、粘り強く自らの仕事や仲間の仕事に取り組もう。

(3) 善悪を正しく判断し、勇気をもって行動できるようになろう。

- ・ 道徳の授業をはじめ、学校生活を通して、自分や仲間を大切にしよう。
- ・ 集団の一員として、自分の行動を考え、集団の中で自己実現を図ろう。

(4) 自分と相手を大切にしよう。

- ・ 本校独自の「思いやり宣言」を大切にして、いじめの起こらない学校風土をつくろう。
- ・ 互いの良さを認め合い、自分や相手を大切に思う気持ちを高めていこう。

標準服、ジャージ等の着用について

令和6年9月14日
練馬区立開進第二中学校

1 目的

- ・ 生徒が、天候、気温、自己の体調等に応じて、衣服等を選択して着用しています。
- ・ 生徒が、時間、場所、場面に応じて、衣服等を選択して着用しています。
- ・ 生徒が自らの身だしなみについて、自ら考え、行動する力を養っています。

2 服装

- (1) **本校指定**のブレザー、スラックス・スカートを標準服としています。
- (2) 夏服は、**本校指定**のスラックス・スカートを標準服としています。
- (3) 標準服のブレザーには、**本校校章エンブレム**を刺繍しています。
本校推奨品には、全て「**KII**」の**イニシャルマーク**を刺繍しています。
- (4) 白Yワイシャツ・ブラウスは、**透け防止加工**の物を着用しています。(本校推奨品)
- (5) 靴下は、白、黒、紺、グレーのものを**基調**としています。(本校推奨品)
- (6) 防寒着として、**希望者**がセーターを着用しています。(本校推奨品)
- (7) コート、ダウンジャケット、ウィンドブレーカー等(部活動で購入したものを含む。)は、**各自が購入**しています。

3 ジャージ・体育着・靴

- (1) **本校指定**のジャージ(上下)・体育着(紺シャツ、ハーフパンツ)を標準服としています。
- (2) **本校指定**の体育館履き(上履き)を標準靴としています。
- (3) **各自が用意**した運動靴(下履き)を校庭の授業時、登下校時に着用しています。

4 カバン

各自が用意したリュック、スクール・スポーツバッグ、手さげカバン等を利用しています。

5 留意点

- ・ 日常的な学校生活では、1の目的を踏まえて、生徒と教員が双方向で衣服の選択や身だしなみについて考えながら進めています。
- ・ 入学式、卒業式、始業式、終業式、合唱コンクール等の学校行事の際は、改めて、場面に応じた身だしなみについて、生徒と教員が考える機会としています。
- ・ 標準服等の着用について、課題が生じた場合には、生徒と教員が考えて対応します。
- ・ 2月の新入生説明会の後に、標準服販売店による寸法合わせの試着会を実施します。
標準服等は全て同一メーカーが製作しておりますが、販売店により価格が異なりますので(価格は事前に公表)、予め販売店を決定してから試着してください。

[お問い合わせ先]

副校長：四ツ目

電話 03-3993-1348